



Iwakuni City Topics

まちの話題

5月9日、岩国高等学校広瀬分校で、毎年恒例の「茶摘み」が行われました。

この行事は、前身の広瀬高等学校時代から半世紀以上続く伝統の行事で、分校生徒をはじめ近隣の小・中学生や高齢者福祉施設の皆さん約150人が参加しました。参加者は、正門付近に植えられた茶垣から、新芽の香りを感じながら茶摘みを行いました。

午後からは、地域の熟練者の指導のもと、分校生徒や小学生などが製茶加工を体験し、自分たちの手で作ったお茶を味わいました。

茶
摘
み

5
月
9
日

地
域
の
伝
統

地
域
を
つ
な
ぐ





日仏交流 ～ 24年目の友情～

4月9日～17日、フランスから14人が来日し、美和町に滞在しました。旧美和町から続く交流は今年で24年目。美和町の柔道クラブ「美和柔友会」を中心に親善交流を深めました。滞在中は、ホストファミリーと錦帯橋・宮島観光などを楽しみ、10日には、市役所を訪問。合併して初めての日仏交流となりました。



新たな生活のスタート

4月6日、本郷山村留学センターで「平成25年度山村留学センター入所式」が行われました。

新しい生活への期待や不安で緊張した表情の子どもたちも、入所式の後で行われた交流会では緊張も解け、笑顔になっていました。

Iwakuni City Topics | まちの話題



ペンギンの姿に大はしゃぎ！

4月7日、ミクロ生物館と宮島水族館との共同イベント「ペンギンがやってくる！」が潮風公園で開催されました。

フンボルトペンギンのヨチヨチ歩く姿に、子どもたちは大はしゃぎでした。ペンギンに触れた子どもたちは、想像していた感触と違うことにびっくりしていました。



地域の力になるために

4月17日、玖珂総合センターで「玖珂まち生涯大学」の開校式が行われました。生徒代表の「地域の力となれるよう真剣に学習します」という誓いの言葉の後、第1回目の講座が開催されました。125人の受講生は、日本時事評論の山口敏昭編集長による政治や教育、福祉にいたる貴重な講演に、真剣に聞き入っていました。



たくさんの来場者で にぎわう！

4月14日、美川大水車まつりが行われ、晴天の下、約300人の来場がありました。来場客は福引、餅まき、特産品販売、ちびっ子コーナー、クイズウォークラリー、餅つき実演販売で楽しんでいました。

また餅つき実演販売は、昔ながらのダイナミックな「だいがら（踏み臼）」で行われ、来場者はその様子に見入っていました。



「アユさん 大きくなってね」

4月26日、アユ漁解禁を前に錦帯橋近くの錦川で、錦川漁業協同組合による稚アユの放流が行われました。この放流は毎年行われており、当日は稚アユ約4万匹が錦川に放流されました。

放流には近くの岩国染香幼稚園の園児17人が参加し「アユさん大きくなってね」などかわいらしい言葉を掛けていました。



みんなの力で手作り展示館完成

4月15日、三瀬川伝さんぜがわ統芸能展示館の落成式が周東町三瀬川地区で開催されました。地域の伝統を後世に継承しようと、三瀬川むらおこし推進協議会や地区住民の協力により建築されました。百年も前から伝わるもみやま山車や昔懐かしい古農具が保存・展示され、三瀬川地区の伝統をつなぐ拠点となります。



かわいいこい鯉のぼりが完成

錦町の子育て支援センター「はっぴいくらぶ」では、毎月3回、乳幼児と保護者向けの催しを行っています。

4月は、翌月のこどもの日にちなんで、鯉のぼりを制作しました。途中、泣き出す子もいましたが、子どもたちの手形、足形に目をつけたかわいらしい鯉のぼりが完成しました。